

朝廷と幕府の争い

学習日 月 日

点

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

頼朝の死後、幕府の実権は北条氏に移った。3代目の将軍が殺されると、(A)
上皇は、これを機会と見て執権を討つよう命じ、1221年に兵を挙げた。動揺する武士
たちに対して、頼朝の妻であった(B)は、頼朝から受けた恩の大きさを説いて
結束を呼びかけ、戦いは幕府方の勝利に終わった。

① A・Bにあてはまる人物名を、それぞれ答えなさい。

A () B ()

② 1221年に起こったこの戦乱を何というか。

()

③ Aの上皇が討つよう命じた、当時の執権の名を答えなさい。

()

④ 戦いの後、Aの上皇が流された島を答えなさい。

()

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

戦いに勝った幕府は、京都に新しい役所を置いた。また、上皇方についた貴族や武士の
領地を取り上げ、地頭を任命して恩賞とした。その後、地頭の力が強くなると、荘園の
領主との争いが各地で起こるようになり、1232年、幕府は争いを解決するための法を
定めた。

① 戦いの後に幕府が京都に置いた役所を答えなさい。

()

② ①を置いた目的を、「朝廷」の語を使って書きなさい。

()

③ 取り上げた領地を恩賞として与えられたのはどのような人々か。次から1つ
選びなさい。

ア 東国の武士 イ 西国の貴族 ウ 京都の僧

()

④ 1232年に定められた法と、それを定めた執権の名を、それぞれ答えなさい。

法 () 執権 ()

⑤ ④の法を定めた目的を、「慣習」「公正」の語を使って書きなさい。

()

解答

1

① A 後鳥羽 B 北条政子

② 承久の乱

③ 北条義時

④ 隠岐

2

① 六波羅探題

② 朝廷を監視するために置かれた。

③ ア

④ 法 御成敗式目（貞永式目） 執権 北条泰時

⑤ 武士の慣習をもとに裁判の基準を定め、争いを公正に解決するため。